

2007 年度第 4 回定例研究発表会

日時：2007 年 12 月 11 日（火） 於：深沢校舎 3 階 308 教場

『摩訶止観』病患境の研究 ① ——「食」—— 渡邊 幸江 (D1)

慈悲 ——慈悲の生起・修習・実践—— 関恭子 (D1)

現代人の宗教観を理解するために (2) ——宗教・仏教をどのよう に捉え、考えているか—— 富田信隆(D2)

『ディーガニカーヤ』における信について 清水谷善暁 (D3)

インド古典にみられる身体部位表現 ——ダンディン著 『十王子物語』を中心に—— 森真理子 (研究生)

2007 年度第 3 回定例研究発表会

日時：2007 年 11 月 26 日（月） 於：深沢校舎 3 階 309 教場

パーリ聖典における菩薩道 ——捨波羅蜜について—— 孫思凡 (D2)

Aṅg u l imālasutta に説かれる忍辱について ——世尊の慈悲心に支えられたアングリマーラの忍辱行—— 加部富子 (D3)

四部註釈書における「序論」「結論」の比較分析 ——問題点の諸相—— 越後屋正行(研究生)

2007 年度第 2 回定例研究発表会

日時：2007 年 9 月 26 日（水） 於：深沢校舎 3 階 308 教場

源翁心昭における生誕年考察 ——新出史料『雲泉寺開闢略記之写』を中心として——
上野徳親

道元禅師における「威儀」現成過程 ——『正法眼蔵』「行仏威儀」巻を中心として——
石原成明

法然上人伝にみる三井寺公胤 ——『浄土決疑抄』の撰述を中心として—— 館隆志

2007 年度第 1 回定例研究発表会

日時：2007 年 7 月 18 日(水) 於：深沢校舎 3 階 308 教場

Samyutta-nikāya に見られる滅智 (khaye nāṇa) について 大森一樹 (D3)

禅宗における『二句偈』関係切紙と王権 広瀬良文 (M2)

法華経と原始仏典 ——śraddhā-sāra 或は śuddhā-sāra を含む定型句について——
北知秀 (M2)